

芸術文化振興基金助成事業 ”音楽都市こおりやま”市民音楽祭参加行事
けんしん郡山文化センター市民コンサートホール

安積合唱協会

The ASAKA Chorverein

第29回定期演奏会

29th Regular Concert

Greeting

本日はお忙しい中、第29回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

創立以来、地域に根ざし、数々の名曲を皆様にお届けしてまいりました安積合唱協会は、この度、令和7年という新たな年を迎え、第29回の定期演奏会を開催する運びとなりました。東日本大震災からの復興を願い、地域に音楽の喜びを届けたいという思いを込めて、今回の演奏会を企画いたしました。

今回のプログラムは、ジョスカン・デ・プレやビクトリアなどルネッサンス期の巨匠から、ブルックナーの荘厳な合唱曲、心に残る歌セレクション、そして信長貴富の現代音楽の作曲家まで、今回も様々な時代や地域の作品をお届けします。団員一同、この貴重な機会に、皆様に美しいハーモニーをお届けできるよう、心を込めて演奏いたします。

今後も安積合唱協会は、音楽を通して地域に貢献し、より一層豊かな文化を創造してまいります。皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

安積合唱協会



日時 / 2025年2月23日（日・祝） 13:30開場 14:00開演

場所 / けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）中ホール

主催 / 安積合唱協会

共催 / 郡山市、郡山市教育委員会、公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社

後援 / 福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、

福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、

ラジオ福島、ふくしまFM、福島県合唱連盟、郡山市音楽連盟

Today's Program

第1ステージ ビクトリアの“O magnum mysterium” (おお、大いなる神秘)

Tomas Luis de Victoria (1548-1611) 曲

モテット

ミサ曲 (Kyrie, Gloria, Credo)

第2ステージ 中世ルネサンス期から現代までの音楽

Ave Maria Benedicta tu

(めでたしマリア、祝福されたあなたは)

Josquin de Prez (ca.1450-1521) 曲

Das edle Herz

(高貴な心)

Joseph Christian von Zedlitz (1730-1791) 詞

Anton Bruckner (1824-1896) 曲

Christus factus est

(キリストは従順にして)

Anton Bruckner 曲

Messeより“Gloria”

(神の栄光)

Paul Hindemith (1895-1963) 曲

(休憩 10分間)

第3ステージ 心に残る歌セレクション

女声合唱 手紙

アンジェラ・アキ 詞・曲
鷹羽 弘晃 編曲

混声合唱 ひとつの朝

片岡 輝 詞
平吉 毅州 曲

混声合唱 信じる

谷川 俊太郎 詞
松下 耕 曲

混声合唱 心の瞳

荒木とよひさ 詞
三木 たかし 曲
横山 潤子 編曲

第4ステージ 信長貴富作品 ピアノと混声合唱のための「くちびるに歌を」

信長 貴富 (1971-) 曲

白い雲

ヘルマン・ヘッセ 詩
高橋 健二 訳

わすれなぐさ

ヴィルヘルム・アレント 詩
上田 敏 訳

秋

ライナー・マリア・リルケ 詩
芽野 蕭々 訳

くちびるに歌を

ツェーガル・フライシュレン 詩
信長 貴富 訳

ピアノ：馬場田あや乃 指揮：宍戸 真市

宗教改革の嵐の中で花開いた神秘的な音楽

16世紀スペイン、宗教改革の時代にトマス・ルイス・デ・ビクトリア (Tomás Luis de Victoria, 1548-1611) はその美しい宗教音楽で名を残しました。彼はイエズス会の精神を音楽に昇華させたポリフォニーの巨匠として知られています。

ビクトリアはスペインのアビラで生まれ、ローマでパレストリーナに師事し、音楽理論と作曲技法を学びました。スペインに戻ってからは、マドリードのデスカルサス・レアレス女子修道会で生涯を捧げ、司祭として奉仕しながら数々の宗教曲を作曲しました。

ビクトリアの音楽は、対抗宗教改革の時代の最高峰の一つです。彼の作品は、厳格な対位法と感情豊かな旋律が特徴です。特に、聖書の言葉に曲をつけたモテットは、彼の代表作であり、洗練された技巧と深い信仰心により聴く者に深い感動を与えます。

神秘的なクリスマスモテットとパロディーミサ

“O magnum mysterium”は、ビクトリアの最も有名なモテットの一つで、キリストの降誕という神秘的な出来事を美しい音楽で表現しています。複数の声部が織りなす複雑な対位法と荘厳な和声は、聴く者を神秘的な世界へと誘います。音画的描写として、言葉の意味を音楽で表現するだけでなく、キリストの降誕という神秘的な出来事を音で「描く」試みがなされています。例えば、キリストの誕生を表現する箇所では、高音域の旋律が使用され、神秘的な雰囲気醸し出しています。対位法の巧みさも特筆すべき点です。複数の声部を巧みに組み合わせ、複雑で美しい対位法を作り上げています。各声部は独立しながらも、全体として調和のとれた音楽を作り出しており、聴く者を魅了します。

ビクトリアはこのモテットを基に、ミサ曲も作曲しました。ミサ曲はカトリック教会のミサ典礼 (Kyrie, Gloria など) で使われる音楽です。モテットの旋律や和声を巧みに引用しながら (この手法を「パロディー」といいます)、ミサ典礼の荘厳な雰囲気を音楽で表現しています。パロディーミサにおいて、ビクトリアはモテットの旋律を巧みに変形させ、ミサ曲の各部分に新たな意味を与えています。

♪モテット "O Magnum Mysterium"

(歌詞はラテン語)

O magnum mysterium,
おお、大いなる神秘よ、
et admirabile sacramentum,
そして、驚嘆すべき聖餐の秘蹟よ、
ut animalia viderent Dominum natum,
動物たちが主の誕生を見たことよ、
jacentem in praesepio!
飼い葉桶に横たわる主を!

Beata Virgo, cujus viscera
祝福された聖母、その身から

meruerunt portare
携えることが許された

Dominum Christum.
キリストなる主を。

Alleluia!
アレルヤ!

♪ミサ "O Magnum Mysterium"**1. Kyrie**

Kyrie eleison,
主よ、あわれみたまえ、

Christe eleison,
キリストよ、あわれみたまえ、

Kyrie eleison.
主よ、あわれみたまえ。

2. Gloria

Gloria in excelsis Deo,
いと高きところには神に栄光あれ、

et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
地には善意ある人々に平和あれ。

Laudamus te, benedicimus te,
あなたを称え、あなたを祝し、

adoramus te, glorificamus te.
あなたを礼拝し、あなたを賛美します。

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam,
あなたの偉大な栄光のゆえに感謝を捧げます、

Domine Deus, Rex caelestis, Deus Pater omnipotens.
主なる神、天の王、全能の父なる神。

(キリストへの呼びかけと救いを求める祈り)

Domine Fili unigenite, Jesu Christe,
独り子である主イエス・キリスト、

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris,
主なる神、神の小羊、父の子よ、

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis;
世の罪を取り除く者よ、我らを憐れみたまえ;

qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram.
世の罪を取り除く者よ、我らの祈りを受け入れたまえ。

Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.
父の右に座する者よ、我らを憐れみたまえ。

Quoniam tu solus Sanctus, tu solus Dominus,
あなた一人だけが聖なる者、主よ

tu solus Altissimus, Jesu Christe,
あなた一人だけが至高者、イエス・キリスト、

cum Sancto Spiritu: in gloria Dei Patris. Amen.
聖霊とともに: 父なる神の栄光の中に。アーメン。

3. Credo

Credo in unum Deum,
私は一つの神を信じます、

Patrem omnipotentem,
全能の父なる神を、

factorem caeli et terrae,
天と地の創造主を、
visibilium omnium et invisibilium.
すべての見えるもの、および見えないものの創造主を。

Et in unum Dominum, Jesum Christum,
そして一人の主、イエス・キリストを(信じます)、

Filium Dei unigenitum,
神の唯一の御子を、

et ex Patre natum ante omnia saecula;
永遠の前から父から生まれたものを(信じます)；

Deum de Deo, Lumen de Lumine,
(キリストは) 神から出た神、光から出た光、

Deum verum de Deo vero,
真の神から出た真の神、

Genitum, non factum,
創造されたのではなく、永遠に生み出されたものを、

consubstantiali Patri:
父と同質であり、

per quem omnia facta sunt.
すべてのものがこの御方を通して創られました。

〔キリストの降誕〕

Qui propter nos homines
(キリストは) 私たち人間のために、

et propter nostram salute
そして私たちの救いのために、

descendit de caelis.
天からお降りになりました。

〔キリストの受肉〕

Et incarnatus est de Spiritu Sancto ex Maria Virgine,
(キリストは) 聖霊によって聖母マリアから肉体を授かり、

et homo factus est.
人となりました。

〔キリストの受難〕

Crucifixus etiam pro nobis
(キリストは) 私たちを救うために十字架にかけられ、

sub Pontio Pilato passus et sepultus est,
ポンティオ・ピラト^{*}の治世のもとで苦しみ、死に、埋葬され
れました。

〔キリストの復活・昇天〕

Et resurrexit tertia die,
そして(キリストは死から) 三日目に復活しました、

secundum Scripturas.
聖書の預言に従って。

Et ascendit in caelum :
そして彼は天に昇り、

sedet ad dexteram Patris.
彼は天の父の右に座しています。

〔キリストの再臨・最後の審判・神の国の永続〕

Et iterum venturus est cum Gloria
そして(キリストは) 再び栄光とともに来られます、

iudicare vivos et mortuos.
生きている者と死んだ者を裁くために。

cujus regni non erit finis.
(キリストの) 王国には終わりが無いであろう。

〔聖霊を信じる〕

Et in Spiritum Sanctum,
そして、聖霊を信じます、
Dominum, et vivificantem:
主であり、そして生命をあたえるもの：

qui ex Patre Filioque procedit.
(聖霊は) 父と子から現れ出て、

Qui cum Patre et Filio simul adoratur,
(聖霊は) 父と子とともに共に崇拝され、

et conglorificatur:
共に栄光を受けます、

qui locutus est per Prophetas.
(聖霊は) 預言者たちを通して語りました。

〔教会を信じる〕

Et unam sanctam catholicam
そして、唯一の聖なるカトリック教会

et apostolicam Ecclesiam.
および使徒的教会を信じます。

〔洗礼を認める〕

Confiteor unum baptisma
一つの洗礼を告白します

in remissionem peccatorum.
罪の赦しのために。

〔復活の希望〕

Et exspecto resurrectionem mortuorum.
そして、待ち望みます、死者の復活を。

Et vitam venturi saeculi. Amen.
そして、来るべき世の命を。アーメン。

^{*}ローマ帝国から派遣された総督。イエスの十字架刑を裁断したとされる

第2ステージ

♪ジョスカン・デ・プレ“Ave Maria benedicta tu”

ジョスカン・デ・プレ (Josquin des Plez c.1450 - 1521) は、ルネサンス音楽を代表するフランドル楽派の作曲家です。フランス北部生まれの彼は、ミラノやローマ、フランス王の宮廷などで活躍し、その音楽はヨーロッパ全土に広まりました。今回演奏する“Ave Maria benedicta tu”は、そんなジョスカンが作曲した数多くの“Ave Maria”の中でも特に美しい作品です。透明感のある旋律と緻密なポリフォニーが特徴で、聖母マリアへの深い敬意と愛情が込められています。

ジョスカンは他にも聖母マリアを讃える作品で有名な“Ave Maria virgo serena”を残しています。“benedicta tu”が荘厳な雰囲気なのに対し、“virgo serena”は華やかで明るい印象です。これらの作品は、それぞれが異なる魅力を持ち、彼の多様な作曲技法と深い宗教的感情を示しています。特に“benedicta tu”は、そのシンプルさと敬虔さが特筆すべき点です。

(歌詞はラテン語)

Áve Maria, grátia pléna,
アヴェ・マリア、恵みに満ちた方、
Dóminus técum,
主があなたと共におられる、
benedicta tu in muliéribus,
あなたは 女たちの中で祝福されている、
et benedíctus frúctus véntris túi,
そしてあなたの胎の実である、
Jésus Chrístus,
イエス・キリスト、
Fílius Déi Vívi.
生ける神の御子。
Et benedícta sint
そして祝福される、
beáta ubera túa,
あなたの祝福された乳房、
quae lactavérunt régem régum
それは王の王を養った
et Dóminum Déum nóstrum.
私たちの主なる神。

♪ブルックナーのモテットなど

アントン・ブルックナー (*Anton Bruckner* 1824-1896) は、19世紀後期オーストリアを代表する作曲家です。オーストリアの小さな村で生まれ、幼少期から音楽に触れ、その後は修道院で音楽と宗教の教育を受けました。リンツ大聖堂のオルガニストを務めながら作曲活動を始め、晩年はウィーン大学で教鞭を執りながら、数々の交響曲や宗教音楽を世に送り出しました。

ブルックナーの音楽は、その壮大なスケールと深遠な精神性で知られています。特に交響曲と宗教音楽は、後世の作曲家に多大な影響を与えました。彼の音楽は、しばしばワーグナーの影響を受け、重厚で複雑な和声、対位法、そして壮大なオーケストレーションが特徴です。

“Das edle Herz” (高貴な心) は、1870年に作曲された合唱曲で、ヨーゼフ・クリスティアン・フォン・ツェドリッツの詩に基づいています。高貴な心の喜びや苦しみ、愛や忠誠を歌い、豊かなハーモニーと深い感情表現が特徴です。

(歌詞はドイツ語)

Wer im Busen nicht die Flamme
胸にただ自分のためだけに燃える炎を持つ者ではなく、
Nur des eignen Altars nährt
自分の祭壇だけを養う者ではなく、
Wer den Blick der edlen Liebe
高貴な愛の視線を兄弟に向けて、
Freudig zu dem Bruder kehrt
喜びを持って愛を示す者でありましょう。
Wer sich nicht sich selbst geboren
自分自身のために生きるのではなく、

Sondern seinem Schöpfer glaubt
創造主を信じる者でありましょう。

Diesen Glauben nicht verloren
その信仰を失わず、

Andern selben nie geraubt
他者から奪わない者でありましょう。

Wer den Wert der eignen Habe
自分の財産の価値を知り、

Gern in dürftge Hände legt
喜んで貧しい人々に分け与える者でありましょう。

Seines Wissens hehre Gabe
自分の知識の高貴な贈り物を、

Auch in fremde Herzen trägt
他者の心にもたらす者でありましょう。

Wer im Segnen und Beglücken
祝福し、幸福を分かち合うことで、

Seines Lebens Freude weiß
自分の人生の喜びを知る者でありましょう。

Dem erschallet mit Entzücken
その人には感謝に満ちた魂の、

Dankerfüllter Seelen Preis
賛美が響き渡ることでしょう。

“Christus factus est” (キリストは従順にして) は、1884年に作曲された宗教的なモテットです。この作品は、フィリピの信徒への手紙2章8節のテキストに基づいており、キリストの受難と謙遜をテーマにしています。ブルックナーは、この作品を通じて、キリストの犠牲と人間の救済に対する感謝の気持ちを表現しています。

(歌詞はラテン語)

Christus factus est pro nobis obediens
キリストは私たちのために神に従う道を選んだ
usque ad mortem,
命を懸けてまで、
mortem autem crucis.
十字架での死に至るまで従った。
Propter quod et Deus exaltavit illum
このために、神はキリストを高く引き上げた
et dedit illi nomen,
彼に最高の名誉を授けた、
quod est super omne nomen.
その名はどんな名よりも高く評価された。

ヒンデミットのMesse “Gloria”

パウル・ヒンデミット (*Paul Hindemith* 1895-1963) は、20世紀の重要なドイツの作曲家です。初期にはロマン派の影響を受け、その後、新ウィーン楽派を経て新古典主義へと進化しました。晩年には宗教音楽に集中し、1963年に“Messe”を完成させました。この曲は彼の音楽キャリアの集大成です。

ヒンデミットの“Messe”は、伝統的な形式を踏襲しつつも、革新的な音楽表現が特徴です。本日演奏する“Gloria”は、特に美しく力強い旋律と栄光を讃えるテーマが際立っています。彼はこの作品を通して、伝統と現代を融合させた独自の音楽スタイルを追求しました。

ヒンデミットの音楽は、実験的な試みと深い宗教性により、現代音楽の発展に大きな影響を与えました。彼の作品は、私たちに新しい音楽体験を提供し、その可能性を広げてくれます。

※演奏するGloriaの歌詞は、第1ステージの「Gloria」を参照してください。

第3ステージ

第3ステージでは、団員から集めた思い出の曲を演奏します。団員のエピソードとともに曲目を紹介し、思い出とともに楽しんでいただける時間をお届けします。難しい曲が続く今回の演奏会の中で、リラックスして楽しんでいただけるひとときです。お楽しみください！

♪手紙 (文責：佐藤 康子)

「手紙～拝啓 十五の君へ～」は2008年のNコン中学校部門の課題曲です。作詞作曲のアンジェラ・アキさんは「10代の孤独な自分に、生きているだけで価値がある」と伝えたかったと話しています。曲は明るくノリノリなので、「ラララ」の部分で手拍子やステップを試みましたが、歌が疎かになってしまい断念しました。歌詞の後半には「いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど、笑顔を見せて今を生きていこう」とあります。とにかく、生きていることに価値があります。「Keep on Believing」自分の思いを信じ続けて生きてほしいという願いが込められています。

拝啓 この手紙読んでいるあなたは
どこで何をしているのだろう
十五の僕には誰にも話せない 悩みの種があるのです
未来の自分に死んで書く手紙なら
きっと素直に打ち明けられるだろう
今 負けそう で 泣きそう で 消えてしまいそうな僕は
誰の言葉を信じて歩けばいいの？
ひとつしかないこと胸が何度もばらばらに割れて
苦しい中で今を生きている
今を生きている

拝啓 ありがとう
十五のあなたに伝えたい事があるのです
自分とは何でどこへ向かうべきか
問い続ければ見えてくる
荒れた青春の海は厳しいけれど
明日の岸辺へと 夢の舟よ進め
今 負けしないで 泣かないで 消えてしまいそうなときは
自分の声を信じ歩けばいいの
大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど
苦くて甘い今を生きている
人生のすべてに意味があるから
恐れずにあなたの夢を育てて
Keep on believing

負けそう で 泣きそう で 消えてしまいそうな僕は
誰の言葉を信じて歩けばいいの？

ああ 負けしないで 泣かないで
消えてしまいそうなときは
自分の声を信じ歩けばいいの
いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど
笑顔を見せて 今を生きていこう
今を生きていこう

拝啓 この手紙読んでいるあなたが
幸せなことを願います

♪ひとつの朝 (文責：宍戸みゆき)

私が中学生の時、Nコンの自由曲として歌い、大好きだった曲でしたが、美しい旋律、流れるようなピアノ伴奏に夢中で、歌詞についてあまり言及しなかったように思います。今改めて見てみると、「方舟に乗って旅立とう」というダイレクトに心に突き刺さる歌詞は、なぜか新鮮に感じます。コンクールの課題曲として何度も取り上げられ、さらに現在でも様々なところで歌われているこの曲。やはり良い曲はいつまでも歌い、語り続けられるんですね。

いま 目の前に ひとつの朝
まぶしい光の洪水に
世界が 沈まないうちに
さあ 箱船にのって 旅立とう
あのノアたちのように 旅立とう

たとえば 涙に 別れること
たとえば 勇気と 知り合うこと
たとえば 愛を 語ること
ときには 孤独と 向きあうこと
旅立ち 旅立ち 旅立ち いくつもの出会い

いま 目の前に ひとつの海
さかまく怒濤の攻撃に
船が 砕けないうちに
さあ 両腕を翼に とび立とう
あの鳥たちのように とび立とう

はばたけ 明日へ まだ見ぬ 大地へ
新しい大地へ まだ見ぬ 新しい大地へ
生きる喜びを 生きる喜びを
広がる 自由を求めて
広がる 自由を求めて

♪信じる (文責：金成聡司)

2011年3月に発生した東日本大震災、震災から2年になる2013年3月に、復興への祈りを込めて、福島県内の混声合唱団が一堂に会し、いわき芸術文化交流館で開催された「希望の歌声合唱フェスティバル」で、私たちが演奏したのが「信じる」でした。「信じることは生きるみなもと」、故谷川俊太郎氏が書いた人の絆、つながりの大切さを、松下耕氏の美しいメロディで歌う日本中で愛され続ける名曲を、復興への信念を込めて歌ったことを思い出します。

笑うときには大口あけて
おこるときには本気で
自分にうそがつけない私
そんな私を私は信じる
信じることに理由はいらぬ

地雷をふんで
足をなくした子どもの写真
目をそらさずに
黙って涙を流したあなた
そんなあなたを私は信じる
信じることでよみがえるいのち

葉末の露がきらめく朝に
何をみつめる小鹿のひとみ
すべてのものが日々新しい
そんな世界を私は信じる
信じることは生きるみなもと

lalala...

私は信じる

♪心の瞳 (文責：神保明子)

末息子が中学生の時「心の瞳」の伴奏をすることになり、練習に合わせて歌ってみたら胸が詰まって歌えなかった。息子のピアノにぐっときたのと、歌詞がその年代の自分にとって本物になったからだ。年月を経て変わらないその人の在りよう、年月を経てたどり着い

た心境、過去にしがみついたり未来をあきらめたりするのではなく、その時代その時代を大切なものとして大切な人と生きていくことの静かな喜び。合唱で伝えられたらと思う。

心の瞳で 君を見つめれば
愛すること それが
どんなことだかわかりかけてきた
言葉で言えない 胸の暖かさ
遠まわりをしてた 人生だけど
君だけが いまでは
愛のすべて 時の歩み
いつも そばで わかち合える
たとえ あしたは 少しずつ 見えてきても
それは 生きてきた 足あとが あるからさ
いつか 若さを 失(なく)しても 心だけは
決して 変わらない 絆で 結ばれてる

夢のまた夢を 人は見てるけど
愛すること だけは いつの時代も
永遠(とわ)のものだから
長い年月(としつき)を 歩き疲れたら
微笑みなげかけて 手をさしのべて
いたわり合えたら
愛の深さ 時の重さ 何も言わず
わかり合える
たとえ 過去(きのう)を 懐かしみ 振り向いても
それは 歩いてた 人生が あるだけさ
いつか 若さを 失(なく)しても 心だけは
決して 変わらない 絆で 結ばれてる

愛すること それが
どんなことだかわかりかけてきた
愛のすべて 時の歩み
いつも そばで わかち合える
心の瞳で 君をみつめれば……

第4ステージ

本演奏会のフィナーレを飾るのは、信長貴富が手掛けた、混声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」の全曲演奏です。

ドイツの詩人たち(ツェーザル・フライシュレン、ヘルマン・ヘッセ、ヴィルヘルム・アレント、ライナー・マリア・リルケ)の詩に基づき、信長自身も日本語に訳詞を行い作曲した合唱組曲です。

作曲者：信長貴富について

1971年兵庫県生まれ。大学卒業後、独学で作曲を学び、全日本合唱連盟の「朝日作曲賞」に入選、2001年には第70回日本音楽コンクール作曲部門で2位を受賞しています。彼の作風は幅広く、親しみやすい小品から無調的な作品までを手がけ、ポップス的なリズムや和声を多用することが特徴です。彼の作品は、「難しい曲はとことん難しく、歌いやすい曲はとことん歌いやすい」というスタイルに二分化されています。三善晃氏や鈴木輝昭氏から強く影響を受け、作風に色濃く反映されています。

演奏曲について

この組曲は、2005年に愛知県の東海メールクワイアーの委嘱により男声合唱版として初演されました。当初、信長は男声合唱以外の編成を想定していませんでしたが、敬愛する指揮者・伊東恵司氏から混声版の制作を勧められ、混声版の作曲を決意しま

した。この作品は、ドイツ語の名詩とその日本語訳を交錯させることで、ロマンティックな音像と深い情感を表現しています。信長は詩から受けたインスピレーションを音像に変換し、詩の魅力を新たな形で再発見する作業を経てこの作品を完成させました。混声合唱版は、男声合唱版の持つ力強さを保ちつつ、より豊かなハーモニーと表現の幅を広げています。特に、終曲の「くちびるに歌を」は、希望に満ちた力強いメッセージが印象的で、聴く者の心に深く響くことでしょう。

♪白い雲 (Weiße Wolken)

ヘルマン・ヘッセ (Hermann Hesse 1877-1962) は、20世紀初頭のドイツを代表する作家であり、ノーベル文学賞を受賞しました。自然を愛し、人間の心の内面を繊細に描いた作品が多く、その代表作に『デミアン』などがあります。高橋健二の訳詩は、ヘッセの詩の持つ哲学的な深みを、美しい日本語で表現しています。信長の軽やかな旋律は、まるで雲に乗って空を飛んでいるかのような、開放的で穏やかな気持ちにさせてくれます。彼の音楽は、ヘッセの詩に描かれた自然の美しさをさらに際立たせ、聴く者の心を優しく包み込みます。

(歌詞はドイツ語と日本語)

O schau, sie schweben wieder
wie leise Melodien
vergessener schöner Lieder
am blauen Himmel hin!

Kein Herz kann sie verstehen,
dem nicht auf langer Fahrt
ein Wissen von allen Wehen
und Freuden des Wanderns ward.

Ich liebe die Weißen, Losen
wie Sonne, Meer und Wind,
weil sie der Heimatlosen
Schwestern und Engel sind.

おお見よ、白い雲はまた
忘れられた美しい歌の
かすかなメロディのように
青い空をかなたへ漂って行く!

長い旅路にあって
さすらいの悲しみと喜びを
味わいつくしたものでなければ、
あの雲の心はわからない。

私は、太陽や海や雲のように
白いもの、定めないものが好きだ。
それは、ふるさとを離れたさすらい人の
姉妹であり天使であるのだから。

♪わすれなぐさ (Vergißmeinnicht)

ヴィルヘルム・アレント (Wilhelm Arent 1829-1870) は、19世紀のドイツの詩人です。抒情的な詩が多く、自然や愛をテーマにした作品が有名です。上田敏の訳詩は、アレントの詩の持つ繊細な情感を、日本の読者に親しみやすい言葉で伝えていきます。小さな花が持つ生命力を、繊細な音色で表現します。一輪の小さな花が持つ力強さや、自然の息吹を感じることができます。

(歌詞はドイツ語と日本語)

Ein Blümchen steht am Strom
Blau wie des Himmels Dom;
Und jede Welle küßt es,
Und jede auch vergißt es

ながれのきしのひともとは、
みそらのいろのみづあさぎ、
なみ、ことごとく、くちづけし
はた、ことごとく、わすれゆく。

♪秋 (Herbst)

ライナー・マリア・リルケ (Rainer Maria Rilke 1875-1926) は、20世紀初頭のオーストリア・ボヘミア出身の詩人です。その詩は、深い哲学的な洞察に満ちており、宇宙的な視点から生命や人間の存在意義を問いかけています。芽野肅々の訳詩は、リルケの詩の持つ神秘的な世界観を、日本語で美しく再現しています。自然の移ろいを、深遠な音楽で描き出します。秋の風景が目に見え、時の流れを感じさせる、しみじみとした感動を与えてくれます。

(歌詞はドイツ語と日本語)

Die Blätter fallen, fallen wie von weit,
als welkten in den Himmeln ferne Gärten;
sie fallen mit verneinender Gebärde.

Und in den Nächten fällt die schwere Erde
aus allen Sternen in die Einsamkeit.
Wir alle fallen. Diese Hand da fällt.

Und sieh dir andre an: es ist in allen.

Und doch ist Einer, welcher dieses Fallen
unendlich sanft in seinen Händen hält.

葉が落ちる、遠くからのやうに落ちる。
大空の遠い園が枯れるやうに、
ものを否定する身振で落ちる。

さうして重い地は夜々に
あらゆる星の中から寂寥へ落ちる。

我々はすべて落ちる。この手も落ちる。
他をござらん。すべてに落下がある。

しかし一人ある、この落下を、
限りなく優しく両手で支へる者が。

♪くちびるに歌を (Hab' Sonne im Herzen)

ツェーガル・フライシュレン (Cäsar Flaischlen 1859-1925) は、19世紀のドイツの詩人です。この詩は、困難な状況でも希望を持ち続けることの大切さを歌っています。作曲者自ら訳詞を行い、作曲することで、詩の持つ力強いメッセージを音楽に昇華させました。この曲は、希望と勇気を歌い上げる力強いフィナーレです。聴く者一人ひとりの心に暗闇の中でも輝く光を届けることでしょう。困難な状況に直面しているときでも、心に灯る小さな光を見失わないでください。この曲を通じて、その光が皆さんの心に届きますように。

(歌詞はドイツ語と日本語)

Hab' Sonne im Herzen,
ob 's stürmt oder schneit,
ob der Himmel voll Wolken,
die Erde voll Streit!
Hab' Sonne im Herzen,
dann komme, was mag!
Das leuchtet voll Licht dir
den dunkelsten Tag!

Hab' ein Lied auf den Lippen
mit fröhlichem Klang,
und macht auch des Alltags
Gedränge dich bang!
Hab' ein Lied auf den Lippen,
dann komme, was mag!
Das hilft dir verwinden
den einsamsten Tag!

Hab' ein Wort auch für andre
in Sorg' und in Pein
und sag', was dich selber
so frohgemut läßt sein:
Hab' ein Lied auf den Lippen,
verlier' nie den Mut,
hab' Sonne im Herzen,
und alles wird gut!

くちびるに歌を持って
心に太陽を持って
ひとのためにも言葉を持って
そしてこう語りかけよう
嵐が吹こうと
吹雪が来ようと
地上が争いで満たされようと
くちびるに歌を持って
心に太陽を持って
ひとのためにも言葉を持って

※斜線部分は作曲、訳詞はされていません

常任指揮者 穴戸真市

Chief Conductor

福島県福島市出身。1999年、国立音楽大学音楽教育学科音楽教育専修を首席で卒業。卒業時に岡本賞受賞。ピアノを内海咲子、小林美樹、岡田隆郎、声楽を伊藤勲、砂川稔、渡辺多津彦、指揮を今村能、小塚類の各氏に師事。2006年、湯本高等学校に赴任。同校合唱部及び吹奏楽部の指導にあたる。'07年、福島県合唱連盟60周年記念青少年合唱団のバスパートリーダーを歴任。'10年、安積黎明高等学校に赴任。同合唱団を指揮し、全日本合唱コンクール全国大会で金賞5回（'11年文部科学大臣賞）、銀賞2回、銅賞1回受賞。この間、Nコン全国コンクールに6回出場し、金賞・内閣総理大臣賞を1回、銀賞1回、銅賞2回、優良賞2回受賞。声楽アンサンブルコンテスト全国大会に4回出場し、いずれも高校部門で金賞を受賞、本選で総合3位1回、総合4位1回、入賞2回受賞。また、同校クラシック部を指揮し、全国学校合奏コンクール全国大会で奨励賞を受賞。



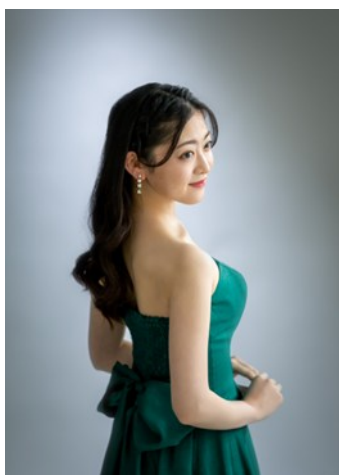
'17年、福島県合唱連盟創立70周年記念青少年選抜合唱団（Fukushima Youth Choir）のバスパートのリーダーを務め、ウィーンおよびザルツブルクの欧州公演に参加した。また、安積合唱協会を指揮し、'12年全日本全国大会一般部門で銅賞を受賞。'19年、若松商業高等学校に赴任。吹奏楽部の指導にあたる。

これまでに、教育文化関係・優秀教職員表彰（'17福島県教育委員会）、福島県合唱連盟表彰（'17福島県合唱連盟）、文部科学大臣優秀教職員表彰（'18文部科学大臣）、全日本合唱連盟東北支部表彰（'19全日本合唱連盟東北支部）を受賞。

現在、福島県合唱連盟事務局次長、福島県高等学校音楽連盟会津支部事務局長、福島県吹奏楽連盟会津支部常任理事。安積合唱協会、会津女声合唱団「ラ・フローラ」、混声合唱団「コアラ」常任指揮者。

ピアノ 馬場田あや乃

Pianist



福島県郡山市出身。福島県立安積黎明高等学校を経て国立大学法人福島大学音楽科卒業、同時に学長賞受賞。同大学院音楽科を修了し、学長賞受賞。

第12～18回東北青少年音楽コンクールにて7年連続最優秀賞、第8回栃木県ピアノコンクールにて全部門最高位の栃木県知事賞、併せて日本人作品最優秀演奏者賞、第11回東京ピアノコンクール第1位等、多数のコンクールで上位入賞。ヤマハ音楽能力検定ピアノ演奏グレード2級取得。これまでに多数のソロリサイタルを開催。

現在、ヤマハ音楽教育システム講師として後進の指導にあたる傍ら、福島県内の学校・一般団体の合唱団の伴奏ピアニストとしても活動している。

合唱団紹介

Choir

安積合唱協会は、福島県郡山市を拠点とする一般の混声合唱団です。

1992年に中世・ルネサンス・バロック時代の合唱曲を演奏することを目的に設立されました。会員は、公務員・会社員・学生など職業や年齢層が多様で、月に1～2回の定期練習を通じて、優れた音律と各声部の調和を目指しています。

年に1回の定期演奏会を中心に、海外公演や各種コンクールにも積極的に参加しています。これまでにオーストリアやフランスの海外で演奏会や全日本合唱コンクールや声楽アンサンブルコンテストなどに参加し実績を残しています。また、他団体とのジョイントコンサートなど、全国の合唱団と交流を深めています。

近年は古楽の魅力にとどまらず、ロマン派や現代曲にも挑戦しています。パレストリーナやビクトリア、モンテベルディ、トマス・タリスなどの古楽から、ブラームス、ブルックナー、ラインベルガーなどのロマン派の合唱曲、信長貴富や千原英喜による日本語の合唱曲など、幅広いレパートリーを演奏しています。安積合唱協会は、歌うことの喜びと、音楽の力で人と人をつなぐことを大切に活動しています。

役員

Executive Committee

理事長	曳地 利光	指揮	志賀 香織
副理事長	浦部 真平		穴戸 みゆき
総務理事	志賀 一郎		
企画理事	阿久津 光美	パートリーダー	
経理理事	笹島 緑	ソプラノ	志賀 香織
		アルト	穴戸 みゆき
パートマネージャ		テノール	古川 隼斗
ソプラノ	浦部 智子	ベース	浦部 真平
アルト	櫻村 貴久子		
テノール	仁井 敏昭	監事	数馬 雅子
ベース	渡辺 均	事務局長	金成 聡司

メンバー

Members of choir

ソプラノ ~Soprano~

志賀 香織 浦部 智子 数馬 雅子 神保 明子 阿久津 光美
加藤 順子 関 由紀子

アルト ~Alto~

穴戸 みゆき 山本 清子 櫻村 貴久子 関根 久美子 笹島 緑
佐藤 康子

テノール ~Tenor~

古川 隼斗 曳地 利光 金成 聡司 服部 晃也 菅家 拓郎

ベース ~Bass~


浦部 真平 渡辺 均 志賀 一郎 影山 洋一 千葉 真実

1992(H4)	5月	設立総会
1993(H5)	3月	第1回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
	12月	第2回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
1995(H7)~ 2000(H12)	3月	第1回 海外公演 (ウィーン、ザルツブルク、ミュンヘン)
		第3回~第8回定期演奏会 (郡山市内)
		第2回 海外公演 (マルセイユ、ラシオタ、アヴィニョン)
1999(H11)	1月	福島県合唱コンクール及び全日本合唱コンクール東北支部大会出場 (銀賞受賞)
1999(H11)~ 2000(H12)		
2000(H12)	3月	特別公演(会津若松市・会津アピオ内 (株) 共立土建コンサートホール)
2001(H13)	3月	第9回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	9月	第55回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール) 金賞 第54回 全日本合唱コンクール東北支部大会(盛岡市民文化ホール大ホール) 金賞
2002(H14)	12月	第10回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	9月	第56回 福島県合唱コンクール(矢吹町文化センター大ホール) 金賞 第55回 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール) 銀賞
2003(H15)	1月	第11回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第57回 福島県合唱コンクール(いわき市市民会館大ホール) 金賞 高野賞
	9月	第56回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール) 銅賞
2004(H16)	1月	第12回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第58回 福島県合唱コンクール(原町市民文化会館大ホール) 金賞
	9月	第57回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール) 銀賞
	11月	やまぐち県民文化祭アカペラフェスティバル招待演奏 (秋吉台国際芸術村ホール) 海外公演記念演奏会(福島市音楽堂大ホール)
	12月	第13回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
2005(H17)	3月	第3回 海外公演 (アイゼンシュタット、フォラウ)
	3月	法政大学アカデミー合唱団福島公演賛助出演(福島市音楽堂大ホール)
	8月	第59回 福島県合唱コンクール(喜多方プラザせせらぎホール) 金賞 三浦賞 福島県教育長賞
	9月	第58回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール) 銀賞
2006(H18)	12月	第14回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	9月	第60回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター大ホール) 金賞
	10月	第59回 全日本合唱コンクール東北支部大会(名取市文化会館大ホール)銀賞
	12月	第15回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
2007(H19)	9月	第61回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール) 金賞 平成19年度 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール)金賞
	12月	第16回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
		第24回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (福島市音楽堂大ホール) 金賞
2008(H20)	3月	第1回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	6月	郡山市民合唱団定期演奏会賛助出演(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第62回 福島県合唱コンクール(南相馬市文化会館大ホール)金賞
	9月	第60回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール)金賞
	12月	平FG合唱団定期演奏会賛助出演(いわき芸術文化交流館アリオス音楽小ホール) 第25回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
2009(H21)	3月	第2回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	6月	第17回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第63回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
	9月	第61回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール)銀賞
2010(H22)	12月	第26回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
	6月	第18回 定期演奏会 (郡山市民合唱団賛助出演) (郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第64回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	9月	第62回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール)銀賞
2011(H23)	12月	第27回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	7月	第27回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)総合3位 (ルネサンス・バロック部門金賞)
	8月	第65回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂大ホール)金賞
	9月	第63回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール)金賞
2012(H24)	12月	第28回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	2月	第19回 定期演奏会 (三春交流館「まほら」まほらホール)
	3月	希望の歌声合唱フェスティバル2012 (いわき芸術文化交流館アリオス大ホール) 第5回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会 (福島市音楽堂大ホール) 優良賞
	7月	第28回 宝塚国際室内合唱コンクール (宝塚ヴェガホール) ルネサンス・バロック部門銀賞、ロマン派部門銅賞
	9月	第66回 福島県合唱コンクール (郡山市民文化センター大ホール) 金賞
	9月	第64回 全日本合唱コンクール東北支部大会 (郡山市民文化センター大ホール) 金賞
	11月	第65回 全日本合唱コンクール全国大会 (富山市芸術文化ホールオーバードホール) 銅賞
	12月	第29回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (福島市音楽堂大ホール) 銀賞

2013(H25)	2月	第20回 定期演奏会 (郡山市民文化センター中ホール)
	3月	Harmony for JAPAN 2013 (京都府長岡京市文化会館) 第6回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会 (福島市音楽堂大ホール) 優良賞
	7月	第29回 宝塚国際室内合唱コンクール (宝塚ベガ・ホール) ルネサンス・バロック部門銀賞
	9月	第67回 福島県合唱コンクール (いわき芸術文化交流館アリオス大ホール) 銀賞 第65回 全日本合唱コンクール東北支部大会 (宮城県仙台市イズミティ21) 金賞
	11月	第3回 ハーモニーコンサート (郡山市民文化センター大ホール)
2014(H26)	12月	第30回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (福島市音楽堂大ホール) 銅賞
	3月	Harmony for JAPAN 2014 (京都府長岡京市文化会館)
	4月	第21回 定期演奏会 振替公演 (郡山市民中央図書館 視聴覚ホール)
	7月	第30回 宝塚国際室内合唱コンクール (宝塚ベガ・ホール) ルネサンス・バロック部門銀賞
	8月	第68回 福島県合唱コンクール (會津風雅堂) 金賞
	9月	第66回 全日本合唱コンクール 東北支部大会 (リンクステーション青森) 金賞
2015(H27)	12月	第31回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (福島市音楽堂大ホール) 金賞 全国推薦 第5回 郡山音楽フェスティバル (郡山市民文化センター大ホール)
	1月	安積合唱協会・京都バツハ合唱団ジョイントコンサート 第22回 定期演奏会 (郡山市民文化センター大ホール)
	3月	第8回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会 (福島市音楽堂大ホール) 銀賞
	7月	第31回 宝塚国際室内合唱コンクール (宝塚ベガ・ホール) ルネサンス・バロック部門出場
	8月	第69回 福島県合唱コンクール (福島県文化センター) 金賞
	9月	第67回 全日本合唱コンクール東北支部大会 (秋田県民会館) 銀賞
	11月	第6回 郡山音楽フェスティバル (郡山市民文化センター中ホール)
2016(H28)	12月	第32回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (福島市音楽堂大ホール) 銀賞 全国推薦
	2月	第23回 定期演奏会 (三春交流館「まほら」まほらホール)
	3月	第9回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会 (福島市音楽堂大ホール) 優良賞 Harmony for JAPAN 特別公演 口短調ミサ演奏会 (東北大学100周年記念会館)
	9月	第70回 福島県合唱コンクール (いわき芸術文化交流館アリオス大ホール) 銀賞 第68回 全日本合唱コンクール東北支部大会 (山形県民会館大ホール) 銀賞
	10月	2016希望郷いわて国体開会式 (岩手県北上市)
	11月	京都バツハ合唱団特別演奏会 J.S.バツハ「口短調ミサ」 (大阪市いずみホール)
	12月	第33回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (福島市音楽堂大ホール) 銅賞
2017(H29)	2月	第24回 定期演奏会 (三春交流館「まほら」まほらホール)
	7月	第33回 宝塚国際室内合唱コンクール (宝塚ベガ・ホール) ルネサンス・バロック部門出場、ロマン派部門出場
	9月	第71回 福島県合唱コンクール (郡山市民文化センター大ホール) 銀賞
	10月	第69回 全日本合唱コンクール東北支部大会 (郡山市民文化センター大ホール) 金賞
	11月	第8回 郡山音楽フェスティバル (郡山市民文化センター中ホール)
	12月	第34回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (福島市音楽堂大ホール) 銀賞
2018(H30)	2月	第25回 定期演奏会 (郡山市民文化センター大ホール)
	9月	第72回 福島県合唱コンクール (會津風雅堂大ホール) 金賞 第70回 全日本合唱コンクール東北支部大会 (多賀城文化センター大ホール) 金賞
	12月	第35回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (伊達ふるさと会館大ホール) 銅賞
2019(H31/R1)	2月	第26回 定期演奏会 (けんしん郡山文化センター大ホール)
	7月	宝塚国際室内合唱コンクール (宝塚ベガ・ホール) ロマン派部門銅賞
	9月	第73回 福島県合唱コンクール (とうほうみんなの文化センター) 銅賞
	11月	郡山音楽フェスティバル (けんしん郡山文化センター中ホール)
2020(R2)	12月	第36回 福島県声楽アンサンブルコンテスト (ふくしん夢の音楽堂大ホール) 銅賞
	2月	第27回 定期演奏会 (けんしん郡山文化センター中ホール)
	3月～	新型コロナウイルス感染症による活動自粛
2021(R3)		新型コロナウイルス感染症による活動自粛
2022(R4)	11月	郡山音楽フェスティバル (けんしん郡山文化センター中ホール)
	12月	第39回福島県声楽アンサンブルコンテスト (ふくしん夢の音楽堂) 銀賞
2023(R5)	3月	4人の指揮者によるチャリティコンサート出演 (けんしん郡山文化センター)
	7月	第38回宝塚国際室内合唱コンクール (宝塚ベガ・ホール) 混声部門
	8月	第77回福島県合唱コンクール (ふくしん夢の音楽堂) 銅賞
	11月	郡山音楽フェスティバル (けんしん郡山文化センター中ホール)
	12月	第40回福島県声楽アンサンブルコンテスト (ふくしん夢の音楽堂) 銀賞
2024(令和6)	2月	福島県合唱連盟県南支部合唱塾修了コンサート出演 (メグレズホール) 第28回定期演奏会 (けんしん郡山文化センター中ホール)
	8月	第78回福島県合唱コンクール (けんしん郡山文化センター) 出場
	12月	第41回福島県声楽アンサンブルコンテスト (ふくしん夢の音楽堂) 銀賞
2024(令和6)	2月	第29回定期演奏会 (けんしん郡山文化センター中ホール)

創業243年
伝統と信頼の大型きもの専門店

キ いわき

いわき 福島店 福島市中町1-9 TEL.024-521-2002
 いわき 郡山店 郡山市中町15-32 (中町立体駐車場1階・振袖の館) TEL.024-922-5291
 【いわきグループ】
 トータルフォトスタジオしょこら 福島店 福島市中町6-28 TEL.024-515-3771
 トータルフォトスタジオしょこら 郡山店 郡山市中町15-28 TEL.024-991-0131
 <営業時間> AM10:00→PM6:30 <定休日> 火曜日
 URL <https://www.kimono-iwaki.com/> 振袖専門店いわき 



一般財団法人慈山会医学研究所付属

坪井病院

理事長 坪井永保 院長 杉野圭史

〒963-0197
 福島県郡山市安積町長久保一丁目10番地13
 電話 024-946-0808
<https://www.tsuboi-hp.jp/>



Hiroshi Kazuma
 Internal Medicine and Cardiology Clinic

[診療時間]

		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	休診	●	●	●	●	●
午後	3:00~7:00	休診	●	午後 休診	●	●	●

休診日/月曜、日曜・祝祭日、水曜午後

かずま医院

内科/循環器科/呼吸器科/外科

医学博士 数馬 博

〒963-8862 郡山市菜根一丁目15-2 Tel.024-934-7750

白河厚生総合病院

受付時間: 8:00~11:30 (診療科、曜日により異なります)

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2-1 TEL:0248(22)2211



—PET・CT がん検診を実施しております—

- 白河訪問看護ステーション
- 農村健診センター
- PET画像診断センター
- 居宅介護支援事業所
- 付属高等看護学院

私たちと一緒に歌いましょう！

歌う仲間募集中



公式HP



YouTube



X (旧twitter)



Facebook



Instagram

- **入会資格** ある程度の合唱経験を持つ方(高校生・大学生も歓迎!)
- **練習日程** 月1~2回程度(土・日曜日や祝日)、9:30~16:30(昼休み1時間)
主に郡山市内および近郊の練習会場で行います。(県内外の各方面からの相乗りも可能です!)
練習回数が限られているので、譜読み等の個人練習を積んでから臨みます。
コンクール、定期演奏会等の前は、少々練習回数が増えることがあります。
- **会費** 1ヶ月あたり一般 3,000円、大学生等 2,000円、高校生 1,000円 (正会員の場合)
※最大1年間、会費が免除される「準会員」制度があります。制度を活用いただき合唱団の活動をご体験ください。

<第30回定期演奏会の団員募集について>

次回演奏会にて、ラインバルガー「ミサ曲 ハ長調(作品169)」をオーケストラとともに演奏する予定です。それに伴い、一緒に歌っていただける合唱団員を募集します。

後日、上記の公式ホームページ、SNSにてご連絡します。ぜひ、一緒に歌いましょう！

安積合唱協会 (事務局)

E-mail: asaka.chorverein@gmail.com
Tel.090-3640-4322(金成)

協賛団体・会員 (敬称略)

Supporters

株式会社PSP (6口)

いわき市役所混声合唱団 (2口)

佐藤 禮子 (1口)

渡辺 正恵 (2口)

金成 文恵 (2口)

ダイハツ福島 郡山川向店 (1口)

ASAKA Chorverein

<https://www.asakachorverein.com>